

# 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

## 2025 年度修士課程入学試験（小論文）

以下の文章は文化財保存修復学会の行動規範です。文化財を対象に自然科学的な手法で調査研究するシステム保存学として、守るべき倫理規定と言えます。

文化財は保存と公開の両立が求められますが、保存と公開は相反する面も持ち合わせています。また文化財の価値づけに調査研究は欠かせないものですが、同様に保存上、好ましくない場合もあり得ます。具体的な文化財の種別を想定し、その保存と公開の、あるいは保存と調査の問題点を指摘し、どのように克服するか、あなたなりのアイデアを、そう考えるに至った論拠を示して、2000 字以内にまとめなさい。

### 文化財の保存にたずさわる人のための行動規範

（文化財保存修復学会 2008 年 7 月 8 日制定）

前文 文化財は人や自然が作り出した、芸術的、歴史的または学術的に価値の高い有形、無形の遺産である。われわれは人類が共有するかけがえのないこの遺産を、自分たちの世代において活用するだけでなく、将来の世代のために保存しなければならない。文化財保存修復学会はそのため、文化財の保存と活用にかかわる科学・技術の発展と普及を図ることを目的とする。この目的を果たすため文化財保存修復学会会員は、専門家として責任を果たすとともに、社会の一員として社会の安全と安寧、人類の健康と歴史・文化および自然環境に対する責任を有することを自覚して行動する。また教育や普及などを通じて文化財の保存への理解を広め、この分野の発展につくす。

これらの認識の下に、文化財保存修復学会はここに行動規範を制定し、会員が守るべき規範とする。同時にこの行動規範は、広く文化財の保存にたずさわる人が守るべき規範となりうると信ずる。

#### 1. 文化財への敬意

文化財保存修復学会会員は、文化財が人類の貴重な遺産であることを認識し、文化財への敬意を持って調査・研究、公開、保存・修復処置を行う。

#### 2. 文化財の価値の尊重

文化財保存修復学会会員は、調査・研究、公開、保存・修復処置にあたっては、文化財の芸術的、歴史的または学術的価値を損なわないように、適正な方法や材料を検討して選択する。

#### 3. 安全性の確保

文化財保存修復学会会員は、調査・研究、公開、保存・修復処置において用いる方法と材料などに、文化財に対して安全であり、かつ人間の健康や環境にも配慮して適正であるものを選択する。

#### **4. 保存環境の重視**

文化財保存修復学会会員は、文化財の長期的保存には保存環境の整備がもっとも重要であることを認識し、文化財にとってより良い保存環境の実現に努める。

#### **5. 自己の研鑽**

文化財保存修復学会会員は、学会活動や教育・研修などの機会を通じて自らの専門的知識、技術の維持向上に努めるとともに、その遂行において最善をつくす。

#### **6. 専門家との協力**

文化財保存修復学会会員は、文化財の保存が芸術・歴史・文化・自然科学など多くの分野にかかわることを自覚し、調査・研究、公開、保存・修復処置において、積極的に他の専門家の協力を求める。

#### **7. 他者との関係**

文化財保存修復学会会員は、他の専門家に対して誠実さと敬意を持って接し、他者の成果を適切に批判すると同時に、他者からの批判には謙虚に耳を傾け、この分野の発展に努める。

#### **8. 記録の作成・保存・公表**

文化財保存修復学会会員は、調査・研究、保存・修復処置にあたっては、信頼性を確保しつつ適正な記録や報告書を作成し、適切に保存・管理するとともに、公表につとめる。

#### **9. 法令の遵守**

文化財保存修復学会会員は、調査・研究、公開、保存・修復処置にあたっては、関係する法令や関係規則を遵守する。また他者の知的成果、知的財産権を尊重し、これを侵害しない。

#### **10. 行動規範の遵守**

文化財保存修復学会会員は、この行動規範を遵守し、他の会員にもそれをうながす。

東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学  
令和7年度修士課程入学試験（実技）

机の上にある資料に付着している接着剤について、下記に沿って報告をしなさい。

- (1) 現状について、客観的な報告を記述しなさい。その中には、推定される接着剤の種類（化学物質名）についても述べること。
- (2) 上記で推定した接着剤について、より詳しい情報を得るためににはどのような方法があるか述べなさい。その方法を使用した場合に、何がどこまでわかるのか、さらに、それでもわからない部分についても含んだ内容とすること。

氏名 \_\_\_\_\_

## 東京芸術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

### R7 年度修士課程入学試験（専門）

- \* 次に I から IV までの問題がある。指示に従って答えよ。
- \* 答えは問い番号、項目番号、（選択する場合は選択した用語）とともに、解答用紙に記入すること。

I. 次の 1～9 の各項目の中から 4 題を選び、記載されている 3 つの言葉について簡潔に説明せよ。その際に、それぞれの言葉がどのような関連を持つかについても述べること。

1. 光学異性体、構造異性体、シストラנס異性体
2. 脂肪族炭化水素、共役結合、アルケン
3. モル沸点上昇、理想気体状態方程式、水素イオン濃度
4. 高分子、モノマー、付加
5. 有機溶媒、極性、双極子モーメント
6. 高級アルコール、立体架橋、界面活性剤
7. 反応型接着剤、揮発、発熱
8. 脂肪酸、油脂、鹼化

II. 合成樹脂を使用して作成された作品に欠損部が生じ、そこに修理材料を補填することを検討する。補填する修理材料に必要な条件を記せ。

また、その条件の中から 1 つを取り上げ、その条件を確認する方法についての実験を考えて記述せよ。

III. 下記の分析方法について 3 つ選び、説明せよ

1. 表面張力測定
2. 熱分解 GC/MS
3. 逆相薄層クロマトグラフィー
4. 高速液体クロマトグラフィー
5. X 線回折
6. 核磁気共鳴法
7. ラマン分光法

IV. 下記の問題について回答せよ。

1. 平均重合度 5000 のポリエチレンの平均分子量を示せ。
2. パラロイド B72 が溶解する有機溶媒を 3 種類取り合げ、沸点の低い順に記せ。
3.  $C_7H_8O$  の芳香族構造異性体はいくつあるか。

氏名 \_\_\_\_\_

4. エポキシ樹脂の主剤と硬化剤の例を化学構造式で示せ。

氏名 \_\_\_\_\_

## 東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学

### R7 年度修士課程入学試験（基礎）

- \* 問 1 から問 2 まで、各 5 つの問題がある。指示に従って答えよ。
- \* 答えは問い合わせ番号、項目番号、選択問題の場合は選択した用語とともに、解答用紙に記入せよ。

#### 問 1

1~5 の各項目につき、(a)~(c)の中から 1 題を選び、100 字程度で説明せよ。

- |    |            |             |            |
|----|------------|-------------|------------|
| 1. | (a)水分測定    | (b)アートソーブ   | (c)絶対湿度    |
| 2. | (a)X 線回折分析 | (b)蛍光 X 線分析 | (c)X 線 CT  |
| 3. | (a)塩類風化    | (b)生物劣化     | (c)凍結融解    |
| 4. | (a)色温度     | (b)紫外線      | (c)測色      |
| 5. | (a)ユネスコ    | (b)古社寺保存法   | (c)文化財防災デー |

#### 問 2

1~5 の各項目につき、(a)~(c)の 3 つの言葉を組み合わせて、文章を作れ。(100 字程度)

- |    |           |          |         |
|----|-----------|----------|---------|
| 1. | (a)融点     | (b)沸点    | (c)比熱   |
| 2. | (a)有機物    | (b)分子結合  | (c)無機物  |
| 3. | (a)考古遺物   | (b)酸化防止剤 | (c)合成樹脂 |
| 4. | (a)美術工芸品  | (b)修理    | (c)所有者  |
| 5. | (a)日本の近代化 | (b)木造    | (c)石造   |

氏名 \_\_\_\_\_

**東京藝術大学大学院美術研究科文化財保存学専攻システム保存学**

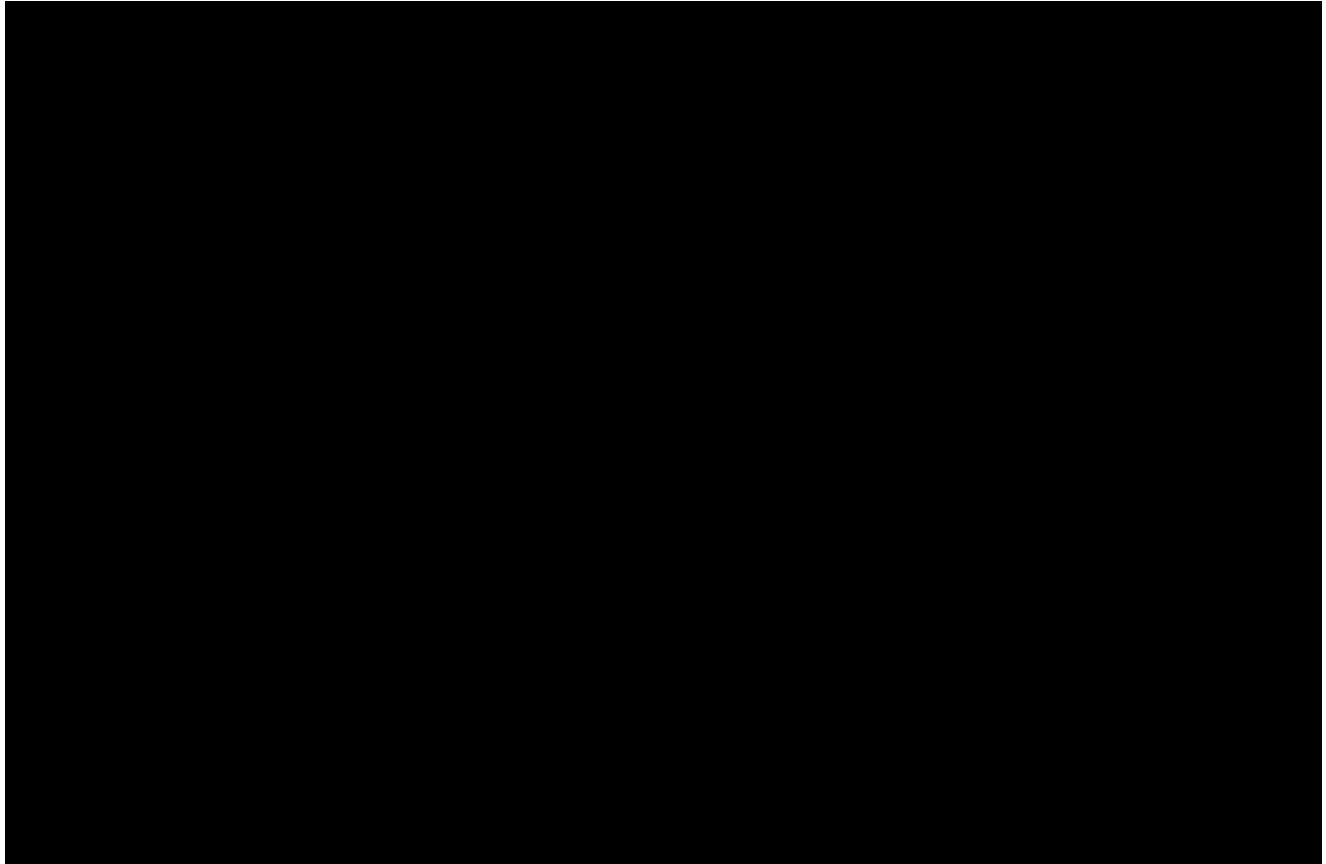
R7 年度修士課程入学試験（英語）

- \* 以下に、問 1 から問 3 まで、3 つの問題がある。指示に従って答えよ。
- \* 答えは解答用紙に、問い合わせ番号、項目番号とともに記入せよ。

問 1

下記の英文を和訳しなさい。

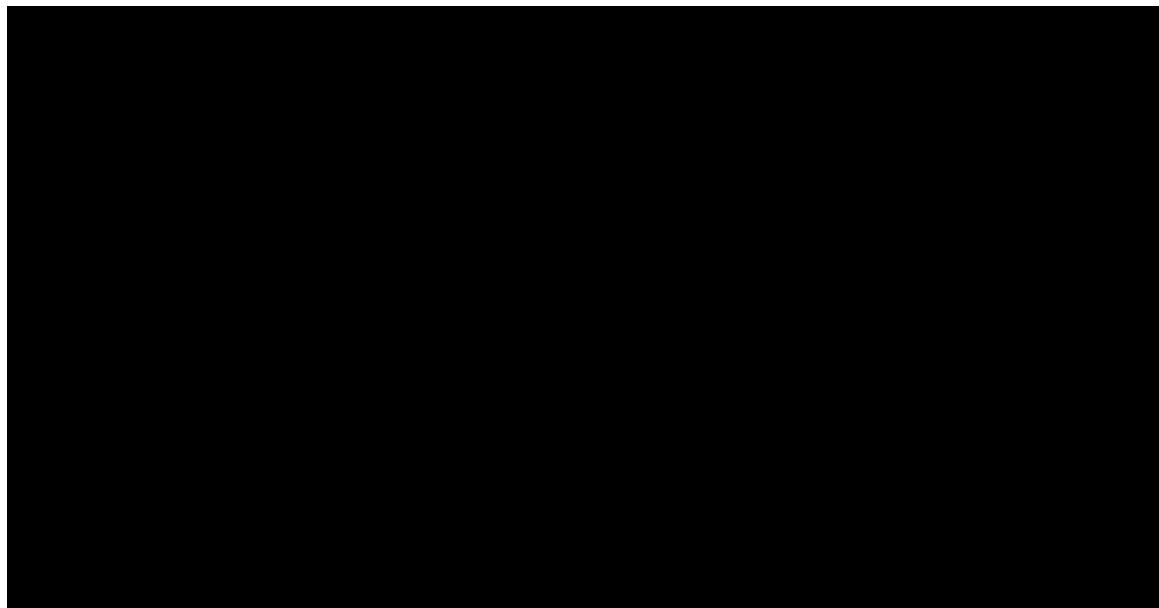
氏名 \_\_\_\_\_



V. Horie; Materials for Conservation, 1.4 History, pp.8-9, 2010(second edition)

問 2

以下の文を読んで、下線部①と②についての問題に答えなさい。



(Science for Conservators: Adhesives and Coatings, J.Ashley-Smith, et.al, 1992 )

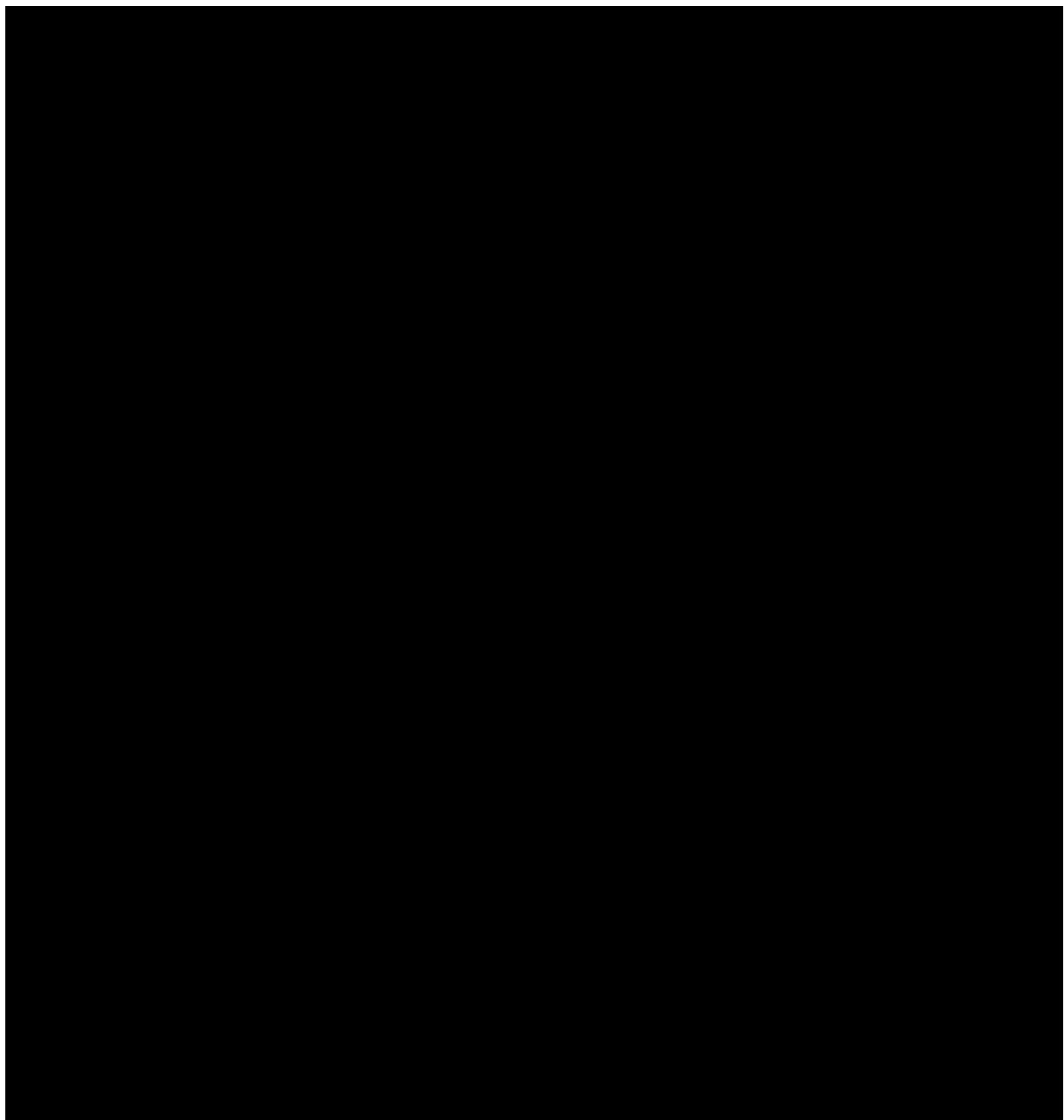
氏名 \_\_\_\_\_

- (1) 下線①と②について、日本語名を書きなさい。また、それぞれの化学反応の違いを説明しなさい。
- (2) 下線②の方法で作られる合成樹脂のうち、ここで挙げられているもの以外の材料の例を挙げなさい。

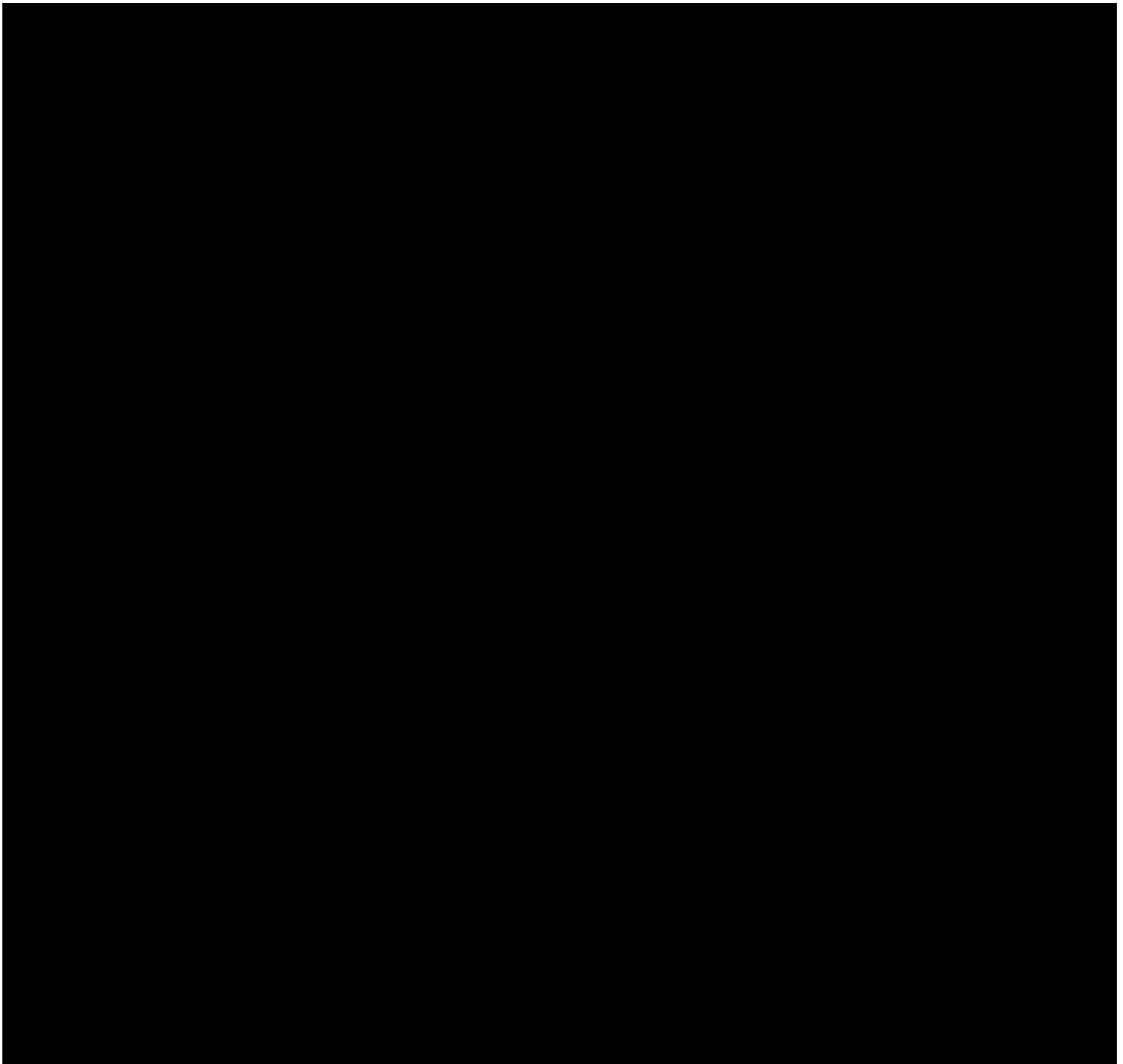
問 3

以下の英文はある研究発表の Introduction である。

内容を読んで問い合わせに答えなさい。



氏名 \_\_\_\_\_



I. Coutinho, et al.; Studies of the degradation of epoxy resins used for the conservation of glass,  
Conference Proceedings Holding it all together, ancient and modern approaches to joining,  
repair and consolidation, 2008 より引用

- (1) この研究において、対象の作品はどのようなものでどのような損傷が生じているか。  
また、その修理のための材料として、どのような性質のものを選択したいと考えて

氏名 \_\_\_\_\_

いるか答えなさい。

- (2) 論文で評価対象とした材料を文中から 3 点抜き出し、それぞれの特徴を述べなさい。
- (3) この研究では、修理のための材料をどのような手法で何を評価したか。